

# 50th Anniversary

本号から、自治労道本部50周年を記念して、歴代委員長の「リレーエッセー」をはじめます。

## 2013道本部国民春闘討論集会

# すべての働くものの処遇改善



全日本自治団体労働組合  
北海道本部  
〒060-0806 札幌市北区  
北6西7北海道自治労会館  
電話 011-747-3211  
FAX 011-700-2053  
編集・発行 谷川 広美



(右から) 川村雅則准教授がコーディネーターとなり、森町職労・宮崎渉さん、土別市職労・西川剛さん、安平町職・渡辺匡人さん、札幌市職連・松本敦子さんがディスカッションした=1月11日、自治労会館

春闘方針では、引き続き公務員労働者の労働基本権回復を基本戦略に、劣化した雇用と労働条件回復に全力をあげ、国公給与臨時削減の地公への影響遮断は、地方財政確立の取り組みと位置づけ、世論喚起しながら取

## 正規・非正規に巨大格差

道本部は1月11日、12日の両日、札幌市・自治労会館で2013国民春闘討論集会を開き、全道から127単組・総支部、261人(うち女性27人、11%)が参加し、基調講演やパネルディスカッションなど熱心に耳を傾けた。2日目は、「討論コース」と「学習コース」に分かれ議論・学習した。(詳細は道本部HP「単組・組合員専用ページ」1/15付参照)

春闘方針では、引き続き公務員労働者の労働基本権回復を基本戦略に、劣化した雇用と労働条件回復に全力をあげ、国公給与臨時削減の地公への影響遮断は、地方財政確立の取り組みと位置づけ、世論喚起しながら取

の間に巨大な処遇格差がある。正規と非正規との間に打ち込まれたくさびを乗り越えることが公務員組合の最重要課題と強調した。また、川村准教授をコーディネーターに、全道各地域の組合員が、各自自治体の臨時・非常勤職員を組織化する際の課題や処遇改善の取り組み、現状報告などを交



藤田かずえさんの本「ルポ労働格差とホビノリズム」を紹介しながら講演する川村准教授



2日目の学習コースで24人の参加者が発言し春闘方針が補強された=1月12日

## 自治労道本部結成50周年 歴代委員長リレーエッセー ①



北村さんは、1986年～1988年に委員長を務めた

### 北村 英人さん (79歳 第4代委員長) 50年 自治労の旗 凜として

「忘れられない年!」。道本部結成から24年目の1986年7月6日。自治労道本部が初めて中沢健次さんを組織内衆議候補に擁立したたかいました。この選挙は衆・参ダブル選挙で、衆議院北海道4区で中沢さん、参議院比例区で自治労代表の山口哲夫さん(元釧路市長)の2人が完勝する歴史的なたかいで、深く記憶に残っています。思い出せば、私と自治労道本部運動の関わりは、1960年(安保・三池闘争の激動期)に自治労北海道の前身である自治労北海道地連時代です。非専従の青年婦人部

長として自治労北海道の運動に参画し、次の年、現業対策部長になった当時は、全国的な現業労働者の低賃金、劣悪な労働条件の改善など、改革運動が高まりを見せていました。全道の単組・総支部に現対部、現業評議会の設立に奔走したことが懐かしく思い出されます。また、60年代後半から労働基本権奪還闘争に集中しました。今現職の皆さんが公務員制度改革、特に労働協約締結確立に全力を挙げていますが、現在、労働運動をかき消そうとする動きに怒りを感じています。しかし、自治労北海道に結集する仲間が皆さんが、全道の各地域で、脱原発反戦平和運動の先頭に立って頑張る姿に大きな誇りを感じます。私も地域から頑張りたいと思っています。

### JICHIRO スケジュール

1月	29日(火) 第1回拡大闘争委員会 (札幌市)	31日(木) 自治労第85回臨時大会 (～2月1日、東京都)					
2月	2日(土) 2013現業公企セミナー (～3日、札幌市)	第32回女性交流集会 (札幌市)	3日(日) 2013女性政治学習会 (札幌市)	5日(火) 合同専従者会議 (札幌市)	OBL会総会 (札幌市)	道本部結成50周年記念レセプション(札幌市)	道本部第54回臨時大会 (札幌市)

道本部ホームページ  
自治労北海道 ユーザー名:hokkaido  
組合員専用ページは パスワード:jichi2009

### 第32回 女性交流集会

2月2日(土) 10時～17時  
(講演) 「女性の人権、男女が共に生きる社会エフエ活動」  
講師:イーデス・ハンソンさん (エフエジャパン理事長)  
(報告) 「PSI世界大会に参加して」  
玉田かえでさん(室蘭市職労)  
(分散会) 「子育て・介護をしながら働く」「定年まで働く」「組合運動あれこれ」「同じ職種の人と語り合いたい」「職場じゃ言えない職場の悩み」

### 2013年度女性政治学習会

2月3日(日) 9時～12時  
◆あいはらくみこ参議 国会情勢報告  
◆あいくみとおーさかさん語り合う座談会

会場:自治労会館5F大ホール 札幌市北区北6西7

## 地公三者 (全道庁労連・北教組) 自治労道本部

### 退職手当見直し撤回! 独自削減停止せよ!

地公三者は、1月29日を最大の山場に全組合員・家族署名、超勤点検・拒否などの戦術を展開し、「退職手当見直し撤回」、14年におよぶ「独自削減の停止」を求め、1月28日の最終交渉まで職場からたたかいを進める。

## 1月29日(火) 早朝1時間スト

## 1月28日(月) 12:05 道庁東側前庭 全道昼休み総決起集会

道本部青年部  
春闘討論集会

# 仲間と悩み考え

## 一歩ずつ運動進めよう!

道本部青年部は、1月12、13日、札幌市・定山溪グランドホテルで「2013自治労北海道本部青年部春闘討論集会」を開き、100単組総支部301人(うち女性60人)の仲間が参加した。



分散会で、さまざまな職場実態を交流した=1月11日、札幌市・定山溪

この間、集会に参加するだけで春闘の取り組みが終る単組があることや、新規採用が回復傾向のなかで、集会参加者も採用1〜3年目の仲間が半数という状況を踏まえ、「春闘の意義を学ぶ」という基礎学習を行い、単組総支部での運動につながることを目標とした。

講演では、本部・佐々木青年部長が、「春闘の意義と課題」青年部のすべきことと題し講演した。

佐々木青年部長は、「日本は、企業別組合が多く、『会社があつての自分』という意識で、要求を掲げにくい状況だった。それを克服するため、労働者みんなで同じ要求

を掲げて一斉にたたかたことが『春闘』のはじまり」と話し、「ひとりの力がままだではなく、みんなの要求とするため、仲間と一緒に運動をしていこう」と呼びかけた。

当面する闘争方針では、『道本部青年部統一要求書行動』を柱とした、「時間外実態点検表」二団結「デスクマット」の取り組みを提起した。

分散会では、「一年間の超勤が480時間。そのうち460時間が不払い残業。金額に換算すると56万円にもぼる」「保育職場では、昼休みも保護者への連絡帳の作成。明日以降に使う教材の準備は、自宅に持ち帰って作

成している」「上司から『早く帰れ』と言われ、仕事が残っていても帰らざるを得ない。上司が帰った後や早朝に職場に行き、仕事をしている」など、不払い残業・ただ働きの実態が多く出された。また、国家公務員の平均7・8%削減について、「事前アンケートで実損計算を行い、金額を見て危機感を持った」と

### 参加者の声

青年部で何か変えたい



日高町職 井戸明日香さん

悪化は、今の現場でも実際に感じている問題だったので、今後の青年部の運動で何か変えられたらいいと思います。

仲間をたくさん作りたい



増毛町職 山本卓矢さん

本格的に集会に参加するのは今回が初めてです。

## えさきさんの国会だより



江崎孝 13

今年ももう半月が過ぎました。一き、その風は09年にむかって強くなり政権交代を生みました。比例区では20人が当選。あいはいらさん50万票を筆頭に、20位は6万7千票で当選です。そんな話をしたあと安達さんは「あいはいらさんも今のままでは厳しいですよ」と一言。「ポーターは17万と18万とかでしょう。今の自治労で集められますか?」と激励のきつい言葉でした。あつという間に本番です。気を引き締め頑張りました。(1月15日、柳川にて)

今年ももう半月が過ぎました。一日と参議選が近づいています。先だって三重県本部の旗開きに参加しました。その後の懇親会で、旗開きに先立って開かれた政治学習会では「気を引き締め頑張ろう」と話しました。

6年前は29の一人区で23勝、殆どの複数区で2人が当選するという民主党圧勝の選挙。大きな民主風が吹



上士幌町職 松尾佳世さん

す。これからは仲間をたくさんつくるため、積極的に組合活動に参加したいとやる気満々!こんな僕ですが、気軽に声をかけてください。

役場に入って一年目なので初めての参加です。分散会がどんなものか事前に聞いていましたが、不安なまま参加しました。同じような仕事を

寒い冬のひとくちメモ

### 生姜パワー

ホット生姜

身体をあたためる辛み成分!

- 血液サラサラ流れスムーズ
- カゼ防止、老化防止、免疫力アップ

ホット生姜

- ①生姜のうす切りにハチミツを入れる
- ②すこし時間が経つと生姜パワーがとけ出す
- ③おこのみでカップに②とお湯を入れて飲むとカラダがポカポカ!

## 一致団結! 家族もねぎらおう



### 職場だより

【後志地方本部発】喜茂別町職員労働組合は現在、46人の組合員で活動しています。

毎年12月には、日頃から組合員を支える家族に、感謝の気持ちを込めてクリスマスパーティーを開いています。

昨年は12月21日に町内の施設を借りて、組合員

とその家族、また、日頃から連帯している消防協会の仲間とその家族を含めて80人が参加しました。

パーティーでは、子どもたちへのプレゼントやピクニック大会を行い、笑顔や笑いのでない有意義なパーティーとなりました。

クリスマスには欠かせない、サンタとトナカイに、家族をねぎらうため

は、慣例により新入組合員が担うことになっていきます。

今回も、4月に採用された組合員がサンタとトナカイ(写真)に扮して子どもたちにプレゼントを配りました。

今後も、組合員が一致団結して頑張るとともに、家族をねぎらうため



プレゼントを渡すトナカイとサンタ(サンタのひげと帽子が紛失!?)

## チャレンジ! チルドレン・ファースト

### 保育の産業化 施設の民営化に拍車



年末から連日、政府・与党の今年度補正予算と新年度予算編成にむけた動きが報道されています。それらに接するたびに、消費税の増収分のうち、子育て施策の充実にあてるとされてきた7千億円の使用道や、ひも付き補助金の復活により再び国が地方をコントロールしやすくなることなど、気がかりなことが増えていきます。

一応、保育労働者の処遇改善や幼児教育の無償化ということがうたわれています。しかし、地方も含めた公務員の人員削減や「社会全体で子育てを支える」民主党の政策を正す、と主張する現政権下においては、当初から懸念されていた保育の産業化や公立施設の民営化に拍車がかかるのではないかと思われています。

### 忙中余話

昨年10月から「助け合い」をモットーに、自治労共済北海道支部に、組合員の暮らしを支える大切なツールとして、担当となりまして、非常に重要であると実感しています。

3カ月が過ぎましたが、共済の内容は一つとして、共済保障内容見直しへの検討や各種共済種目への加入も大事ではないかと思っています。さて、組合員の賃金労働条件は、独自削減や退職手当の見直しなどの動きが厳しさを増していますが、自由に使えないお金の減少している今だからこそ、自主福祉運動として取り組んでいる共済は、よろしく願います。(長尾 祐司)